

## 平成 22 年度第 1 回尼崎市保健所運営協議会報告書

- 1 と き 平成 22 年 10 月 12 日 (火) 午後 1 時 30 分から 3 時まで
- 2 ところ 尼崎市立すこやかプラザ 多目的ホール
- 3 出席者 (委員 12 名)  
橋本会長、重岡副会長、伊田委員、奥田委員、佐々木委員、佐藤委員、白川委員、萩原委員、平山委員、藤原委員、三宅委員、村上委員  
(事務局 23 名)  
大橋医務監、郷司参与、鈴井参与、坂本課長、繰納課長、後藤課長、船越課長、堀池所長、榎並課長補佐、林課長補佐、轟課長補佐、來住係長、中尾係長、木下係長、高井係長、鈴係長、石井係長、西田係長、吉田係長、水田係長、和田係長、長谷川主任、馬場技手
- 4 議事録
  - (1) 開会
  - (2) 尼崎市保健所長あいさつ
  - (3) 委員・事務局紹介
  - (4) 会長あいさつ
  - (5) 協議事項

| 質 疑 応 答       |   |
|---------------|---|
| <b>【議題 1】</b> | <b>平成 22 年度尼崎市保健所事業について</b>   |
| 事務局           | (平成 22 年度尼崎市保健所事業について資料に基づいて説明)   |
| 議長            | 以上で事務局の説明は終わりました。何かご意見、ご質問はありますか。   |
| 議長            | 乳幼児虐待は保健所の管轄だったか？   |
| 事務局           | 保健所は、虐待については予防が中心の取り組みだが、虐待で個別に対応が必要な方については、全庁的に「要保護児童対策連絡協議会」という組織を作っており、福祉事務所の中に事務局があるが、そこにいるんな職種の人が入って個別の検討会をしたりケアをしたりするといった仕組みになっている。そこに保健所も参加している。 |
| 議長            | では保健所だけではなく、福祉事務所も？   |
| 事務局           | 事務局としては福祉事務所の家庭児童相談室になる。  |
| 議長            | わかりました。他にございませんか。   |
| 委員            | (資料の) 15 ページに各種検診受診者数が書いてあるが、子宮がんと乳がんの受診者が大幅に増えているのは、特別に何か理由があるのか？  |
| 事務局           | 昨年、国の施策で子宮がん、これは女性の方のがん検診だが、無料クーポン券を配らせていただいております。子宮がんは 20 歳、25 歳、30 歳、35 歳、40 歳になられる方、乳がんは 40 歳、45 歳、50  |

|                     |   |
|---------------------|---|
|                     | <p>歳、55歳、60歳になられる方に配っているので、こういう結果になっている。</p>  |
| <p>委員<br/>議長</p>    | <p>ありがとうございました。</p> <p>絶対数だけでは受診率がわからないので、できればこういうデータはパーセント表示もつけて欲しい。国のがん検診の受診率は、この5年以内に50%を目標にしている。私の知る限りでは、この辺のがん検診の受診率は軒並み10%以下である。パーセントで書いていただいた方がわかりやすい。</p> |
| <p>事務局</p>          | <p>今年度の保健行政の概要からは受診率のパーセント表示も載せさせていただいているので、よろしくお願いします。</p>   |
| <p>議長<br/>委員</p>    | <p>他にございませんか。</p> <p>子宮がんについて、東京都などは子宮頸がんの検査は無料ですと聞いているが、尼崎は子宮がんの中に子宮頸がんも含んでいるのか？</p>   |
| <p>事務局</p>          | <p>国のがん検診の指針の中では、子宮頸がんが対象になっているので、尼崎では子宮頸がんを対象にさせていただいている。今おっしゃられたように、東京の方では無料でされているところもあるようだが、尼崎市では自己負担1500円をいただいている。</p>  |
| <p>議長</p>           | <p>ちょうど(時期的に)いい議論だと思うが、今国会で補正予算が審議されている。その中で子宮頸がんワクチン、HPVワクチンという結構予防効果のあるワクチンだが、その予算が通れば当然保健所はワクチン接種に対して計画を立ててやっていけるのか？</p>                                       |
| <p>事務局</p>          | <p>国の指針や対策が出れば、それに基づいてやっていきたいとは思っているが、ヒブや肺炎球菌なども一緒に計画になっているので、計画の内容を見てみないとどれぐらいのことが市としてできるのかというのがまだわからないところである。</p>   |
| <p>議長</p>           | <p>全額公費は出ないと思う。ワクチン接種の費用は14、15万ぐらいであるため、全額は出ないと思うが、またよろしくお願いします。</p>  |
| <p><b>【議題2】</b></p> | <p><b>尼崎市食育推進計画について</b></p>   |
| <p>事務局</p>          | <p>(尼崎市食育推進計画について資料に基づいて説明)</p>   |
| <p>議長</p>           | <p>以上で説明は終わりました。ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問はありませんか。</p>   |
| <p>議長</p>           | <p>確かに食育は、キレル子どもも増えているし、ひいては生活習慣病につながっていくという点でも非常に大きな問題となっている。</p>  |
| <p>委員</p>           | <p>食事に関しては、家庭でちゃんとした食事を作っていればなんとかなるというように思う。普通の食事を作るということをどうやってお母さん方に浸透させていくかというのが非常に重要なんだろうと思うが、</p>   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>そこのところの具体的なものが少し見えにくいかなというように私は感じるが。</p>   |
| 事務局 | <p>おっしゃる通りに、一番の食育の推進の基本は家庭だと思っている。(食育推進計画の資料の)10ページの「家庭における食育の推進」という章で、ここは項目立てだけになっているが、本編の方では少し具体的に、こういう取り組みを家庭で、というようなことを記載しており、その家庭を支援する意味も含めて、例えば保育所だと、保育所からの情報も発信して、家庭での食育にも役立てていただけるようなものにしていくとか、小学校、中学校などの教育の中で、子ども達が自分でもできるように指導していくとか、そのように基本は家庭が大きな役割だと認識した上での計画にはなっていると思っている。</p>  |
| 委員  | <p>保育所に行っている子ども達に関しては、保育所での食事に関するいろんな話を通してお母さん方は学んでいるし、もっと活用していきたいというお話なんだろうと思う。それはそれとして非常に重要なことであり、それ以降、例えば中学校や高校であれば、学校参観日の時にそういった時間を設けて何かするというのも1つの方法ではないかと思う。</p>   |
| 事務局 | <p>またご意見を参考にさせていただきたいと思う。</p>   |
| 議長  | <p>子どもの頃からの取り組みは大事だ。今日、うちの病院の給食でスタッフが豚カツにマヨネーズをかけて食べていたので注意したところだが、給食にマヨネーズをつけるのをやめたらどうだろうか。そういうところから1つずつできるのではないかと思うのだが。</p>   |
| 委員  | <p>(食育推進計画の資料の)8ページのところに、みんなの「いただきます」「ごちそうさま」が人をはぐくむ あまがさきをはぐくむ と書いているが、先日テレビを観ていたら、外国人が日本に来て、「いただきます」「ごちそうさま」にびっくりしたと言っていた。日本だけの習慣らしい。我々の世代では、この「いただきます」というのは農家の方に、米一粒も残さないようにいただくという気持ちで言っていた。その習慣で、私も未だに茶碗に米粒一つ残さずいただいている。宴会などに行くと、よく食事を残したりするのが私はものすごく気になって、「ちゃんと食べてしまえ」などといらぬ口を出すのだが、このことも、保育所に行っている子やこれから小学校に行く子どもに、お米を作ってくれている農家の方への感謝の言葉ということで1つ付け加えたら、また良い子が育つのではないかと思う。</p> |
| 事務局 | <p>この「挨拶」に関してアンケートを取ると、食事の時に挨拶をしている子ほど、家で食事の手伝いをしていたり、食べ残しを減らす努力をしたり、食品の廃棄がもったいないと感じたりする傾向が強いというデータがある。さらに、家で食事の手伝いをする子ほど、食べ残しを減らす</p>  |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>努力をしたり、もったいないと感じたりする傾向が強いということもあるので、おっしゃられる通り、挨拶は意識を育てるという意味では非常に大切なことだと思っている。</p>  |
| 議長    | <p>今は飽食の時代なので、例えば弁当1つとっても本当に山盛り入っているし、レストランに行っても山盛り出てくる。逆に、我々が糖尿病の患者さんに食事指導する時は、弁当を全部食べずに残すよう指導するのが正直なところである。食品産業や弁当屋さんなどにも、そのような理念を持ってもらうことが大事だと思っている。</p>    |
| 事務局   | <p>本日、お手元に糖尿病市民フォーラムのチラシを配布している。市民対象のフォーラムなので、是非とも皆さんお誘い合わせの上、足を運んでいただければと思っている。保健所の事業紹介もある。</p>   |
| 議長    | <p>パンフレットをお配りしたり、パネルを置くコーナーをお借りしようと思っている。</p>  |
| 委員    | <p>歯科医師会にもご協力いただいている。</p>  |
| 委員    | <p>歯科医師会としても、全身疾患、特に糖尿病と、歯科疾患、歯周病との関連について力を入れて取り組んでいる。歯周病の予防や治療と、糖尿病とは密接に関係があるということが最近のデータでわかってきている。私どももこの糖尿病フォーラムを応援させていただいて、少しでも多くの皆さんに参加していただくようお願いしたい。</p> |
| 議長    | <p>ここに書いてある「いい歯の日」は11月8日ですね？何かされるのか？</p>   |
| 委員    | <p>8020 と言って、80歳で20本の自分の健康な歯を保っている、という方の表彰等をさせていただくということをしている。</p>   |
| 事務局   | <p>補足だが、そのフォーラムの中に食育の部門のコーナーも設けさせていただいて、歯科医師会の先生方とタイアップして啓発するというところで今準備を進めている。</p>   |
| 委員    | <p>よろしくをお願いします。</p>  |
| 事務局   | <p>皆さんのお手元に「ひょうご食育月間」のポスターが配布されていると思うが、これは協働推進員さんの協力を得て地域に貼っていただいており、皆さんの方でも貼っていただけるスペースがあればご活用いただけるとありがたい。</p>  |
| 【議題3】 | <p><b>予防接種事業について</b></p>   |
| 事務局   | <p>(新型インフルエンザワクチンを含む予防接種事業について説明、資料も参照)</p>  |
| 議長    | <p>以上で説明は終わりました。ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問はありませんか。</p>  |
| 委員    | <p>医者に行くとなすごく時間がかかるが、予防接種に行く場合は順番が早</p>  |

|                     |   |
|---------------------|---|
| <p>議長</p>           | <p>くなるとか、別の窓口などがあるのか？</p> <p>多くの場合、一般の診療所で受けられるが、医者は1人しかいない。予防接種は医者問診と簡単な診察が必須項目となっているため、やはり順番を待ってもらわないといけないだろう。これはどうしようもないが、1時間、2時間も待ってもらおうということはあまりないだろう。去年は突然の流行もあったため、一般の診療所は自分のところにかかっておられる患者さん以外は受け付けないなど色々あったが、今年は今までなかったことのない方でも医療機関に行っていたら受けられるように、ほとんどの所が手を挙げている（体制を整えている）ので、近くの開業医の所に行かれたら受けていただけたらと思う。</p> <p>去年は夏に流行って、今年はまだまだ暑いが、インフルエンザの流行と気温はあまり関係ないのか？</p> |
| <p>事務局</p>          | <p>今年は従来通り、冬に流行るタイプに移行しているようだ。</p>  |
| <p>議長</p>           | <p>まだ慌てなくてもいいが、11月、12月になるまでには接種しておいた方がいいだろうということですね。</p>  |
| <p>事務局</p>          | <p>65歳以上の方の場合は、年齢が確認できればその場で1000円で受けていただけるが、65歳未満の方の場合は、非課税世帯を確認するのは保健所でしかできないため、郵送または保健所で手続きをしていただいて、こちらが発行した受診券を持って行っていただきたい。</p>   |
| <p>議長</p>           | <p>市では集団接種はしていないですよね？</p>   |
| <p>事務局</p>          | <p>はい。</p>  |
| <p>議長</p>           | <p>診療所か大きな病院に行って接種していただくよう、お願いしたい。</p>  |
| <p><b>【その他】</b></p> |   |
| <p>議長</p>           | <p>最後に1点だけ、たばこに関して所長のご意見をお伺いしたい。先日、受動喫煙の死亡者数が年間6,800人というデータが出ており、健康被害に及ぶ損失が1兆7,000億円、それに関連する休業や入院などによる損失が7兆円だと試算されている。国や、例えば議員さんに言っても、たばこ税が入ってこなくなるので、それによって市町村の財政が一気に悪化するということが乗り切れない理由の1つとして挙げられているのだが、長期的に見ればこれだけの被害が出ているので、やはり行政として何か対策を立てていってくれるのではないかと考えている。所長のお考えはどうか？</p>   |
| <p>事務局</p>          | <p>行政というか、健康づくりという保健に携わっている部署というのは、従前から受動喫煙防止というのは当然の課題として取り組んできているが、問題は、いくら声を大きくして呼びかけても国全体で認めているものであるため、効果が出にくいということ。私どもは当然、禁煙も勧め</p>   |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>ないといけないし、受動喫煙防止のために取り組まないといけないという立場は変わらないのだが、例えば、条例化しろとか、いろんな声もあるが、条例化したからと言ってどうなるものでもなしに、実効性をどう担保するのかというのが非常に行政としては頭が痛い問題である。当然継続して取り組まないといけない問題だと思っているが、問題は実効性だと思う。市の施設は、かなり前から全て施設内禁煙になっている。他の公共機関もやらないといけないが、そこのところまでは…。ただ、県の施設も施設内禁煙で進めているはずなので、だいたい公共機関は禁煙になっていると思う。県の方で条例の会議をしている議事録を見ると、やはり食品とか旅館業などをされているところは経営的な問題もあって、その辺をきちんと考えて欲しいというような意見がずっと出ているように見受けられる。</p>                     |
| 議長  | <p>短期的に見ればそうかもしれないが、例えば、たばこの吸えないレストランがあれば、皆さんそちらの方に行く傾向があると思う。逆に、食べに行って横でたばこを吸われると、二度とそのレストランには行くまいとなることもあると思うので、一概に、禁煙にしたから客が減るというのはどうかと思う。やはり行政として何か政策的なアドバルーンを掲げていただかないと、我々医療機関は、1つの医療機関だけが声を上げてもなかなか広がっていかない。もう1つは教育。小学校から取り組まないといけないと思う。学校で禁煙教育を年1回ぐらいはできるような体制をとっていただいたら、医師会としては全面的に協力させていただくので、その辺のところをまた次年度検討していただくようお願いしたい。</p>   |
| 事務局 | <p>今は学校も敷地内禁煙になっているようで、たばこを吸われる先生は門の外で吸っておられるので、あれはあまりにかわいそうじゃないかという意見が議会の中で質問として出てきたりしており、立場が変われば見方も変わるということだと思う。今回、たばこが値上がりになっているが、あれは本来はたばこをできるだけ吸わないようにというような動きの中での値上げだと私は思っていたのだが、ニュースなどを観ていると、税収はこれで上がるんだろうか、というような言いばかりになっているので、税収を上げるために値上げしたわけではないと思うが、マスコミはそのように完全に受け取っているの、あの受け取りはおかしいなと、結局は経済成長といった視点でしかマスコミは見る事ができていないのかなと、ちょっと残念な思いをしている。日本医師会は以前からたばこを1箱1000円にしよう、などとずっと言っておられるが。</p> |
| 議長  | <p>学校教育の方は、鉄は熱いうちから打てと言うが、やはり中学校になると遅いと思う。中学生の喫煙率は10%近くになるようなので、やはり</p>  |

|                          |  |
|--------------------------|--|
|                          | <p>小学生の間からたばこの害を教えていくことが大事だと思う。それと、喫煙というのはニコチン依存症という疾患である、という捉え方をしていないと禁煙運動は進んでいかないと思う。病気として捉えれば、それを治す手段はある。いわゆるニコチンパッチや飲み薬などで、飲み薬は今、製造が追いつかない状態になっているようで、10月になって禁煙外来に押し寄せてきた患者さんも多いのではないかと思う。そのような状況もあるので、やはり病気として捉えて対処していくことが重要だと思う。ちなみに禁煙外来は3ヶ月で1コース、その間3割負担で12,000円ぐらいの自己負担で済む。ひと月のたばこ代は、1日に20本吸われる場合を考えても、経済的な効果も圧倒的に大きいと思う。</p>  |
| <p>委員</p>                | <p>10年程前に環境衛生調査を行い、町に吸殻がごっそり散乱しているのが気になって、生活衛生課に携帯灰皿を作ってもらえないかとお願いした。その時は100万ほどの予算がついて、1軒あたり5つぐらいの携帯灰皿を理容美容クリーニングの組合員に配ったことがある。今朝、私は出屋敷辺りのゴミ拾いをしてきた。ビニール袋とハサミを持って、ずっと歩きながらたばこの吸殻を拾って行くのだが、今日は4名だったが、多い時は10名ほど参加していただいている。そうするとゴミが結構溜まるもので、地域によって差がある。ガレージの所は多く、飲食店のある所も多い。家の前は皆さん掃除されているので綺麗だが、ちょっと町内から離れるとやはり吸殻が多い。国道筋や交差点などは吸殻がものすごく目に付くので、たばこの値段が上がってだんだんと吸う人が減ったらいいなと思う時がある。</p> |
| <p>議長<br/>委員<br/>事務局</p> | <p>その辺の清掃事業にかかる大きな役割もある。</p> <p>そうですね。清掃活動は4年半ほど続けている。</p> <p>先ほど会長からご意見があった防煙教室のことだが、小学校の子ども相手ということで、学校との調整がついた所には年間何校か、小学校5年生、6年生を主に対象に取り組んでいる。全小学校にはまだ行けていないが、養護教諭の先生方の連絡会というのもあるので、そのような場で防煙教室の話はしている。学校に保健所の職員が出かけて行って、先生方と合同で実施するというのが基本的な考え方なのだが、まだ統一して全部同じシステムで行うところまでいっていないというのが現状である。</p>  |
| <p>議長<br/>事務局</p>        | <p>それは学校からの要望で派遣しているのか？</p> <p>基本的には、学校からの要望があるというのが前提。また、禁煙クリニックと言って、保健所でも年間4クール、3ヶ月を1クールとして、禁煙のきっかけにさせていただくための事業も行っている。医療機関でも対応されるようになってきたが、以前は十分ではなかったもので、市では</p>   |

|     |  |
|-----|--|
| 議長  | <p>かなり前から行っている。</p> <p>一応は保健所としても取り組んでいるということだろうが、もう少し積極的に取り組んでいただきたいと、医師会としては考える。</p> <p>他にはございませんか。</p>  |
| 委員  | <p>たばこのことではないが、公園や道路に犬のフンがたくさんある。あれはどうにかできないか？</p>   |
| 事務局 | <p>生活衛生課です。犬のフンというのは古い時代からの問題で、都市部では特に多いため、一定の啓発等の取り組みはさせていただいているが、結局は犬を飼われる方1人1人のモラルの問題ということになる。5、6年前に、色々と尼崎で取り組まれている活動の中で、市民活動として1つの町会で取り組まれた例が紹介されたことがあった。イエローカード作戦というもので、新聞などでも紹介され、非常に効果があったというケースである。しかし、なかなかこの取り組みを地域でするのは大変で、どういうものかと言うと、町会の方々が町内を回って、犬のフンを見つけるとイエローカードをその場に置く。犬はだいたい同じコースで散歩をするし、同じ所で用を足すことが多いので、飼い主の目に留まりやすく、「地域はこういうのを許しませんよ」という態度を示す。また見つけたらまた置く、それを一定期間繰り返しているとものごく効果が出た。保健所としても取り組んでみたいと考えたこともあったが、町会の方々にとっては大変な労力で、その後、その取り組みがなかなか広がらなかったという経過がある。難しい問題だが、今後も飼い主がフンの始末をするのは当たり前だということを啓発していく取り組みは必要だと思っている。動物行政に関しては、昨年度申し訳ない事件があったことを踏まえて、今「あり方検討会」を行っている。その中で、啓発をどうするかということも1つのテーマになっており、何か効果的な施策はないかと議論を進めているところである。</p> |
| 議長  | <p>他に質問等がなければ、時間となりましたので本日の協議は終了させていただきます。みなさまのご協力、ありがとうございました。</p>  |

( 6 ) 閉会